

基本目標③：産業・観光・歴史文化

施策 3：地域資源を活かした観光の振興

施策目標

野洲市の地域資源の魅力が周知され、多くの人々が野洲市を訪れ、楽しみ、地域経済が活性化しています。

現状・課題

野洲市には、三上山や琵琶湖に代表される豊かな自然や歴史、社寺や史跡等の魅力ある地域資源があるものの、それぞれが点在しており、結び付けるような観光の仕組みづくりやまちの玄関口である駅からの交通手段が充分でなく、地域資源を生かした観光が展開できていません。また、地域の歴史や伝統文化等は市民においても認知度が低く、野洲の良さや魅力が市外に広がらない一因にもなっています。

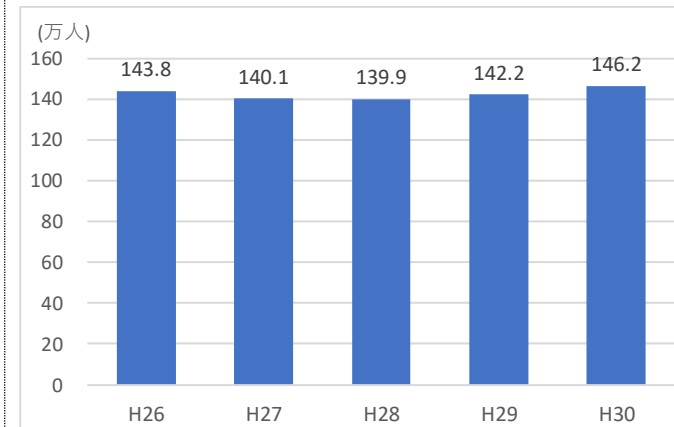
市民に野洲の魅力を再発見してもらうような取組を進めるとともに、インターネットや SNS の活用やターゲットを明確にした魅力のアピール等により、市外の方に野洲市に興味を持ち、訪れてもらえるような情報発信の工夫が必要です。

観光は、体験や体験を通じた学習、地域との交流等付加価値が求められる時代となっています。観光客のニーズを把握し、エコツーリズム、アグリツーリズム等、新たな感動を味わえるような観光のあり方や新たな観光資源の掘り起こしを、事業者や市民団体等と連携しながら検討していく必要があります。

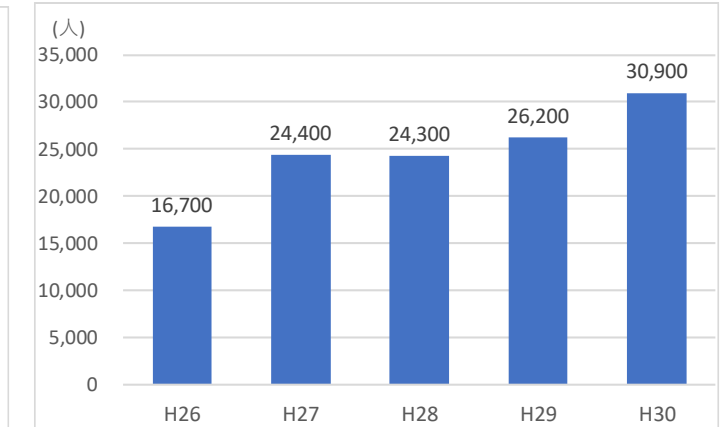
野洲市の魅力が市内外の多くの人に注目され、野洲市に関わりを持つ関係人口が増加することで、事業者や市民団体等にも新たな工夫やアイデアが生まれ、地域ブランドの創出や地域への誇りや愛着の醸成にもつながります。地域経済の活性化と共に、地域の魅力を守り発展させていく担い手の輪が広がるよう観光振興を進める必要があります。

■野洲市における観光客数の推移

(日帰り)



(宿泊)



(資料) 野洲市

取組方針

主な取組

- ① **観光情報の収集・発信の充実**
観光情報を効果的に発信する仕組みを時代やニーズに応じて構築し、野洲市の魅力をアピールします。
- ② **新たな観光資源の発見と環境整備**
体験型の観光や滞在型の観光等、ニーズに沿った新たな観光資源の掘り起こしを行い、観光客が訪れやすい環境整備を行います。
- ③ **地域資源の活用促進**
観光に関連する市民・団体・事業者等と連携し、特産品づくりや定期的なイベントの開催等、地域資源を活用した観光振興を促進します。

- インターネットや SNS 等社会に対応した観光情報の発信、等
- 体験型観光のメニューづくり、案内表示の更新・多言語化、観光関係団体への支援、等
- 観光ルートの充実、事業者や市民との協働による特産品づくり、定期的なイベントの開催、等

指標

関連する主な市の計画

| 指標 | 現状値 | 目標値 (5年後) | (指標のそのものや現状値、目標値等の解説) |
|----------|--------------------------|-------------|--|
| ① 観光入込客数 | 1,550,777 人 (平成 31 年) | 1,627,500 人 | 本市の豊かな自然や歴史を PR し、観光資源のブラッシュアップを実施することで、観光客数 5% 増をはかる。 |

■野洲市観光振興指針